

岡山県の山はもう幾つも登っているのですが、今回は広島県まで足を伸ばすことにした。

十方山登山口には、比較的新しいトイレがあり、駐車スペースもあるので地元ではよく知られた山であろう。その駐車スペースにテントを張って仮眠。到着が遅かったのと、宴会が長引いたので少し遅い時間に起床。

朝ご飯を食べていると、電気工事車両が数台上がって来た。高所作業車も2台。

テントの撤収を後回しにして、お湯を沸かしたりトイレに入ったり。5時間程度の歩行時間なので、それほど慌てる必要もなくのんびりと過ごして、ようやく登山準備をして登りだす。暫くは自然林の急登を標高差 200mほど登る。アベマキやボクチ類、コマユミ、ケヤキやミズナラ、ツガ、モミのなどが多い斜面である。

比較的広い尾根に乗る。右手の山裾を巻いてしばらく進むと広い谷に出る。ここが瀬戸ノ滝分岐である。命の泉滝辺りは露岩があり滑りやすい。シロヨメナだろうか白い可愛い花が多く咲いている。P934mとのコルに出ると美しい自然林の尾根になる。ほぼ水平歩道を歩いていると突然ブナの巨木が登場。大きさの比較のため傍に大塩さんに立っていただいて写真を撮る。

25000の地形図に崖マークが記載されている。露岩あり、東斜面は切れ落ちているが岩崖は直接見えない。露岩地帯を越える辺りに5合目の表示板がある。

この辺りの林床にはチシマザサが広がっており、京都北山周辺では近年見られなくなった風景である。

三ッ倉の脇を通りしばらく進むとブナ交じりの美林地帯。やや急登気味になり笹原を歩く。両サイドのササが刈り込まれており歩きやすい。ギボウシの大きな葉っぱがある。サワフタギの藍色の果実が陽光に輝いている。リョウブなどの灌木が多いが、風が強いのか矮小化している。前方に山頂の表示板が見える。遭難碑を越えて進むと、地表にアカモノの低木が見られる。

広々とした山頂は大展望。日本海、瀬戸内海が見えるが真北に標高の高い山があるので北方面の展望は途切れているが、名の知らない中国地方の山々が蒼くたたなずく風景を眺めながら頂くランチは贅沢なひと時である。

下山は同じ道を引き返したが、見落としていた野草や新しい風景に出合えるすばらしい山である。

★メンバー 三鍋他 3名 ★コース登山口 8:17～滝分岐 9:03～コル 9:14～5合目 10:15 発 21～1055m 10:57～遭難碑 11:42～山頂 11:55 発 12:28～コル 14:36～滝分岐 14:45 発 47～下部滝分岐 15:13 発 23～登山口 15:32

吉和冠山 10月16日 地形図「安芸冠山」

魅惑の里に泊まり翌朝は朝食を取らずに宿を出た。潮原温泉の横を通り、汐谷（ウシオ）沿いに進む。タイヤ工場を過ぎ、荒れた林道を進むと駐車スペースがある。冠山の登山口である。

鉄製の橋を渡ると、汐谷左岸に出る。しばらくは植林地の水平歩道歩きとなる。

「滝ヶ休」を越えた辺りで左手上部に林道が見え工事車両の音が聞こえてきた。この辺りにはコウモリソウやジンジソウ、サラシナショウマなどの花が見られる。冠山への登山道は半分以上谷沿いに付けられている。

林道を越えるとオオバアサガラやサワグルミなどの水場を好む木々が多くなる。カラスたちがサルナシなどの実を漁っているのかたくさんいる。

谷の分岐点に朽ちかけた木製の橋がある。汐谷支流のクルソン谷沿いの道に変わると、やや急斜面の登りになる。やがて左手から登山道が合流する。クルソン仏岩分岐で、仏岩に直登する道であるが、一見すると岩混じりの急登なので下り使う事にする。

分岐から10分ほど歩くと小広場に出る。真ん中にブナの大木が立ち、休憩場所には丁度良い。地形図を見ると、クルソン仏岩出合いであった。自然林の美林であるが全体的に細く粒ぞろいなのはおそらく伐採直後の二次林であろう。

分岐から、緩やかに登ると、やや下りになるが自然林の美林が続く気持ちの良い散歩道。赤い実をつけたツルリンドウがかわいい。樹林帯の向こうに山頂部が東に傾いた冠山の雄姿が見える。やがて太いブナが点在するようになると急登になり、ブナの巨木が次々と現れ圧倒される。

急登が終わると穏やかな丸みの山頂に到着する。山頂広場は樹林に囲まれ展望が悪いが樹林の間から瀬戸内海が見える。北に少し進むと行き止まりで切り落ちた懸崖になっている。展望が開け中国山地の蒼い山々が広がっている。

下山は、同じ道を引き返し、クルソン岩仏出合から左手に登り笹道を歩いて15分ほどでクルソン仏岩に出る。高さ16mの垂直の岩塔で途中まで登って諦める。暫く岩場を楽しんでから、急斜面を下ると、クルソン仏岩分岐に出る。ここからは登りに使った谷沿いの道になる。

★コース 登山口 7:20～908m 8:12 発 15～クルソン仏岩分岐 8:46 発 53～クルソン仏岩出合 9:20 発 24～山頂 10:20 発 11:05～クルソン仏岩出合 11:49 発 53～クルソン仏岩 12:11 発 37～クルソン仏岩分岐 12:54～林道 13:22～登山口 14:00

